

件名	非核三原則の法制化に関する陳情			
提出者 住所氏名	墨田区文花一丁目 墨田折鶴会 会長 ●● ●●			
受理年月日	平成22年2月1日	受理番号	第1号	
<p>要旨</p> <p>「非核三原則」の法制化を促すよう、国及び政府に対し、意見書を提出してください。</p> <p>(理由)</p> <p>広島・長崎の被爆から64年目を過ぎ、その体験者である私たち被爆者の多くが高齢者になりました。</p> <p>しかし、私たちは、人類が作り出した最も残忍な兵器、核兵器による地獄を体験させられ、あの地獄から生き残った者の使命として、国の内外で被爆体験を語り、核兵器による犠牲者が二度と生まれないことを強く願って、運動を続けてきました。</p> <p>今その願いに、一筋の光が見えてきました。核兵器を実戦で使用した唯一の国であるアメリカ合衆国のオバマ大統領が、核兵器のない世界を追求していくことを明言したのです。</p> <p>この今こそ、日本は、核兵器を落とされた唯一の国として、核兵器の廃絶に向けて主導的役割を果たすべきであると私たちは考えます。そのために、私たち被爆者は、「非核三原則」の法制化を求めます。</p> <p>この願いが、被爆者のみでなく、国民的意義があることをご理解いただき、墨田区議会が「非核三原則」の法制化を促す意見書を採択されるよう、陳情いたします。</p> <p>以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>				